

沖縄平和行進報告書

東北地方塩釜支部三陸分会 副部長 上石一輝

5月17日から5月20日まで沖縄平和行進に参加してきました。1日目は結団式を開催し、基調講演の平和フォーラム前共同代表の藤本泰成さんから沖縄と連帯する意義について講演してもらいました。自分自身初めて参加したのですが沖縄が今どういった状況なのか、そして平和行進の意味を理解して次の日の行進に本気で取り組む決意ができました。

2日目は、自分達三陸分会は普天間基地の北と南に別れた南ウイングの方を行進しました。シュプレヒコールは皆さん力強い声で沖縄の基地反対を訴えており、妨害集団もいましたが全然負けていない熱気と声に圧倒されました。歩いている最中沖縄の住民の方たちが自分達に手を振ってくれて、頑張れと言われているような感じがして感動しました。8キロほど歩いてゴールのグラウンドに着き、県民大会を開催しました。それぞれの方々の想いが伝わり、強く胸を打たれました。そこから旧海軍豪に視察へ行きました。そこは米軍が攻めてきて海軍司令部が囲まれてどうしようもなくなった時の当時の豪の様で、入り口付近には当時の歴史の写真などが展示されていました。地下に続く階段があり、そこに行くとき当時使われていた豪がありました。実際に入ってみるとすごく狭い印象がありました。当時はここに何千人と入っていたと考えると、自分は実際の出来事には考えられないほど悲惨な場所だと思いました。そして戦争がいかに無意味だという事を再確認することができました。

3日目はバスで一日中視察をしました。バスガイドさんが、分かりやすく視察する場所の説明をしてくれました。最初に、視察したのはひめゆり資料館でした。そこは当時女子校だったようで、若くして女子学生が怪我の治療やご飯の運び方などをさせられていたようです。入ると当時の写真があり、壁に埋め込まれているテレビには当時生き残った生徒が実際の体験を話していました。自分は悲しいという気持ちと、戦争に対する恐怖を感じました。戦争の過去の記憶が今も生き残った方々を苦しめています。戦争も軍事施設もあつてはならないものだと思えました。次に向かったのは平和記念公園でした。入り口は見晴らしのいい公園で、奥に向かうと右と左に数えきれないほどの名前の刻まれた石碑がありました。そこは戦争で亡くなった方々の名前が刻まれていて、今現在も名前が増えているほど犠牲者が多いようです。石碑を抜けると奥に噴水がありました。覗いてみると日本の形があり、沖縄の所から噴水が出て波が出ていました。それは平和の波を全国に送ろうという想いが込められている噴水で、自分もそうなって欲しいと強く想いました。次に向かったのは普天間基地が見える嘉数高台公園と、嘉手納基地が見える嘉手納道の駅に行きました。自分達が行ったときは日曜日で、基地も休みだった様ですが、普段の平日はオスプレイや戦闘機の音

でテレビや携帯電話もままならない状況にあると聞きました。騒音の時間帯も関係なく、真夜中に戦闘機を飛ばして住民の方を困らせている状況にあるようです。そこから新基地建設中の辺野古基地までバスで向かいました。とても綺麗な海に大きな建設物があり、近くには辺野古基地反対のすわりこみの看板もありました。基地を3施設視察して、自分は平和と暮らしを守ることが大事だと改めて感じました。そのためには自分達の想っていることを全世界に発信し、これからも平和行進の様な活動をしていくべきだと思います。

今回この三日間を通して、自分の知らない沖縄を勉強することができました。そして、色々と準備してくれた沖縄支部の方に感謝しています。ありがとうございました。